

静岡県熱海市における 令和3年7月1日からの大雨に係る災害派遣について

概要

- 7月3日（土）午前、静岡県熱海市内の住宅地域で土石流が発生。同日1230、静岡県知事からの災害派遣要請を受理。
- 7月30日（金）現在、自衛隊は、約480名の態勢をもって、被災現場に約190名、重機4両を投入し、警察・消防と連携して人命救助活動等を実施。

活動実績

人命救助活動等【7月3日～29日】

- 被災現場における活動人員等：延べ約9,340名
- 活動部隊：陸上自衛隊第34普通科連隊(板妻)、第32普通科連隊（大宮）、第1施設大隊(朝霞)、第1戦車大隊(駒門)、航空自衛隊中部航空警戒管制団（入間）等
- 使用装備：重機16両(最大時)、ヘリ(UH-1)2機(最大時)、全天候型ドローン7機(最大時)、災害救助犬5頭(最大時) 等
- 救助実績：16名（うち12名について警察により死亡を確認）
- 道路啓開：国道135号線及び活動地域付近の道路上に堆積した土砂等を除去し、計約1,020mを啓開

本日（30日）の活動

引き続き、以下の活動等を実施

1 人命救助活動

0600以降、陸上自衛隊第34普通科連隊（板妻）等の人員約180名により、重機4両（小型ドーザ×4）を用いた人命救助活動等を実施。

2 連絡員の派遣

静岡県庁に2名、熱海市役所に3名、伊豆山現地本部に2名の連絡員を派遣。

活動状況（熱海市）



土砂・瓦礫の除去（第34普通科連隊）